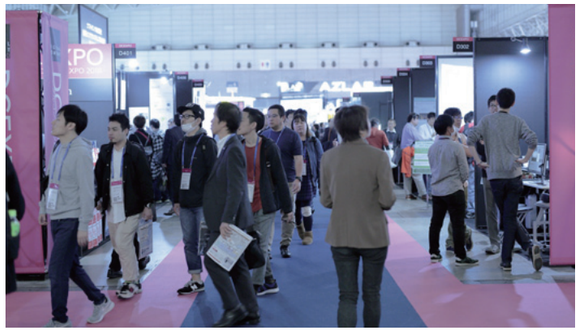
同時開催 **DCEXPO** デジタルコンテンツEXPO 2018

日本のコンテンツビジネス競争力強化を目指し同時開催 VR・ARコンテンツ制作やVTuberをめざすクリエイターが集結

Inter BEEの今年の新たな展開として、一般財団法人デジタルコンテンツ協会(DCAJ)が主催する先進的なコンテンツ技術の催し「デジタルコンテンツEXPO2018」が同時開催となった。これまで10年にわたり、日本のアート、コンテンツの最新技術を紹介してきたDCEXPO。世界最大のCGとインタラクティブメディアの催しとして知られるSIGGRAPHとも連携し、交互の優れたコンテンツ技術の交流を続けている。DCAJの市原専務理事は「より実用化に向けたビジネスマッチングを重視し、B2B色の強い場での開催を目指した」とねらいを語る。「先進的なコンテンツ技術をクリエイターや開発パートナーに知ってもらうことで、その技術を利活用したビジネスが事業化される契機とし、日本のコンテンツ産業の競争力を強化するとともに、開発パートナーとなった企業にとってもマーケットを拡げたい。」

DCEXPOには、基調講演などのセッションや、最新映像やVR作品の上映会などとともに、CG、VR・AR、デジタル映像、ゲームなど、幅広いジャンルにおける数多くのコンテンツ表現技術が出展された。さらに研究段階のアイデア等を提案するInnovative Technologies、コンテンツ技術によるビジネスの共創を目指し、経済産業省事業の一環として実施したBizTech*Matchなどの提案型の出展を集めたエリアも見られた。

基調講演では、テレイグジスタンスの提案者である東京大学名誉教授の舘 暲氏が登壇し「テレイグジスタンスの今 －時空間瞬間移動産業とテレイグジスタンス社会への挑戦－」と題した講演が開催され、舘氏が長年進めてきたテレイグジスタンスの技術が注がれたアバターロボット「モデルH」も登壇して“時空間瞬間移動”のデモが実施された。

セッションではSIGGRAPHのコンピューター・アニメーション・フェスティバル(CAF)で上映された最新のデジタル映像が上映されたほか、第26回 国際学生対抗バーチャルリアリティコンテストや、VTuberハッカソンを開催するなど、新たなメディアを舞台に活躍する若手のクリエイターが集まった。